

2

景観形成方針

市民アンケートの結果や景観資源に関する調査により抽出された景観形成上の課題を解決し、良好な景観形成を推進していくための共通目標となる景観形成の目標や基本方針を設定します。

(1) 景観形成の目標

大垣市は、日本のほぼ中央に位置し、古くから交通の要衝、東西文化の交流点として栄え、近年では大垣の誇りでもある“豊富な地下水”を活かして県内有数の産業都市として西濃圏域の中心都市の地位を築いています。また、この“豊富な地下水”をはじめとする豊かな水により水と緑にあふれた潤いのあるまちとなっています。

大垣市には、このような背景から、多くの魅力的な歴史景観や水辺景観、産業景観、市街地景観を育んできました。

特に水門川をはじめとする水辺景観や大垣城をはじめとする歴史景観は大垣らしさの源泉となる重要な景観資源となっており、これらの資源を活かした大垣らしさの感じられる景観づくりが必要となります。

一方、大垣駅通り（大垣駅南口線）の衰退により西濃圏域の中心都市として風格が失われつつあり、市民が大垣市に誇りを感じることができる市街地景観の形成が必要となります。

また、上石津地域の標高800メートル前後の山に囲まれた緑豊かな里山景観や、墨俣地域の長良川や犀川などの自然豊かな水辺景観がみられます。今後はこうした魅力ある景観に磨きをかけ、多彩な景観に出会えるまちにしていく必要があります。

さらに、身近な清掃美化活動などを通じ、市民が大垣市に愛着を持つことができるよう、市民協働の景観づくりを推進していかなければなりません。

こうしたことを踏まえ、大垣市の景観形成の目標は以下の4つとします。

目標

- 水都大垣の水を活かした潤いのあるまち
- 市民が誇りを持てる大垣らしい顔のあるまち
- 大垣らしい多彩な情景に出会えるまち
- 市民協働の景観づくりによる愛着を持てるまち

(2) 景観形成の基本方針

① 水都大垣の水を活かした潤いのあるまち

方針

- 水門川などの良好な水景の保全
- 周辺のまちづくりと一体となった水景の魅力化

大垣市には、大小多くの川が流れるとともに、市内各所に湧水がみられます。また、江戸時代においては水運を活かした交通の要衝ともなっており、現在も残る港跡は水都大垣を象徴する景観となっています。

こうした水の景は大垣にとって非常に大切な景色であり、積極的に保全していくとともに、周辺のまちづくりとも連携し、魅力ある水辺空間づくりを行っていきます。



② 市民が誇りを持てる大垣らしい顔のあるまち

方針

- 大垣駅周辺における大垣の顔として風格のある景観づくり
- 大垣城や赤坂宿など、先人から受け継がれてきた大垣の象徴となる歴史景観の保全

大垣市には、先人から受け継がれてきた大垣城周辺や旧街道の宿場町である赤坂宿・墨俣宿・大垣宿など、歴史・文化の蓄積を感じさせる大垣らしい場所がいくつかみられます。

しかし、歴史的建造物の建替などにより、徐々に大垣らしさが失われてきており、市民が大垣のルーツに誇りを持って感じる事が難しくなっています。

特に、大垣市の顔である大垣駅周辺の中心市街地は、古くは大垣城の城下町として栄え、明治・大正・昭和と東海道本線の大垣駅のターミナルとして、西濃圏域の中心都市にふさわしい賑わいをみせていたものの、建物の老朽化や商店街の衰退により、西濃圏域の中心都市として風格が失われつつあり、市民が大垣市に誇りを感じられなくなっています。

大垣駅周辺は大垣市の玄関口として、大垣の顔となる重要な場所であることから、風格とともに大垣らしさの感じられる景観づくりを行っていきます。

また、中山道赤坂宿、美濃路墨俣宿、美濃路大垣宿の宿場町地域においては、街道沿いやその周辺に歴史的な面影を残す建造物や史跡が散在しており、所々に当時の宿場町の面影を見ることができます。

しかし、いずれの地域も、空地・空家の増加や建替え、老朽化などにより、時代とともに宿場町の風情が失われつつあるのが現状です。宿場町地域は、大垣の顔となる重要な場所であることから、これらの歴史景観についても、必要な景観整備に努めます。



③ 大垣らしい多彩な情景に出会えるまち

方針

- 産業都市大垣を感じさせる近代遺産の保全
- 多良峡などの潤いのある豊かな自然景観の保全
- 里山や水屋など、大垣らしい生活景観の保全
- ソフトピアジャパン周辺など、新たな時代に向けた景観づくり

大垣市には、「市街地の情景」として、古くから交通要衝の地として培った豊富な歴史景観や産業都市としての産業景観がみられ、「人と自然の営みの情景」として、田園景観や里山景観がみられます。また、「自然の情景」として、長良川の大川の情景や多良峡などの渓谷の情景、養老山地の豊かな緑の情景など多彩な情景に出会うことができます。

こうした情景は、まちに彩りを与えてくれる貴重な財産であることから、それぞれの情景に磨きをかけ、新たな大垣らしさとして創造していきます。



④ 市民協働の景観づくりによる愛着を持てるまち

方針

- 清掃美化活動など市民協働による景観づくり
- 新たな組織による景観活動の充実

大垣市においては、従来からの自治会組織等による自治活動を中心にしたまちづくりに加え、歴史や文化、環境など市民の関心のある分野について活動を行う市民組織がみられます。

今後は、自治会などの従来の組織を活かして、清掃美化活動や違反広告物の除却活動などの身近な景観づくりを行っていくとともに、農地・水・環境保全向上対策事業による活動や、森林づくり委員会の活動など、新たな組織による活動をサポートし、多様な市民協働による景観づくりを行っていきます。

